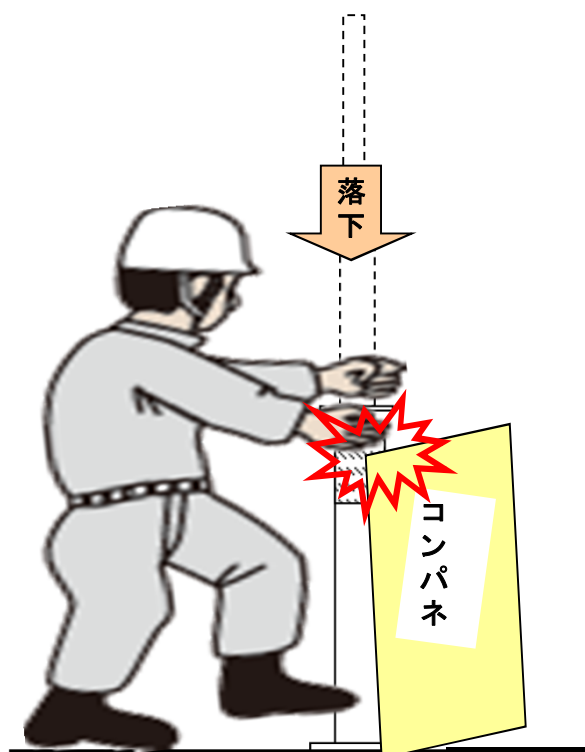


『支保工解体時にサポート揺すり、サポートが落下し右手を負傷』

発 生 年 月 平成 年 2月
時 刻 9:50頃
被 災 者 大工(51歳)
傷病名・部位 挫創及び基節骨骨折、右手第1指(拇) (休業1日)

- ◎発生状況
1. 8時30分より職長以下9名で風除室のスラブ型枠、梁型枠の支保工解体に従事し、被災者は階段踊り場部分を受け持ち作業を開始した。
 2. 9時5分ころ、支保工(パイプサポート H=3m程度)を取外すため、サポートのピンを抜いたがスライドせず縮まないため、両手でサポートを揺すったところサポート上部が落下(スライド)してきたため、サポート頭部プレートと当該サポートに立ってかけてあったコンパネとの間に右手を挟む状態で強打し、負傷した。

◎被災状況



◎コメント

- ・解体作業時の作業手順の再教育を行うこと。
- ・作業環境内の整理整頓を行う。
- ・パイプサポートのスライド落下作業の禁止すること